

こころつなぐ

2025年
秋

大和ハウスライフサポート株式会社
有料老人ホーム「もみの樹」ネオ・サミット

季刊誌

繁田雅弘医師
コラム

特集

館見学

オンリーワン
プロジェクト

認知症の方と対話をしよう その意味と効果とは？

大和ハウスグループが描く“将来の夢”

環境・アクティビティ・リハビリ「もみの樹・練馬」
実際の暮らしが分かる

ご家族の願いを受け止め、懐かしき海・材木座海岸へ

吉野川鉄橋

「こころつなぐ」

人と地域、そして心豊かな暮らしへの架け橋を築く

大和ハウスライフサポート。

そこには、ご入居者やそのご家族の

さまざまな夢や願いの実現をお手伝いしたいとの

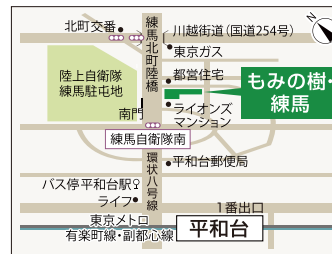
想いが込められています。

0120-07-4165

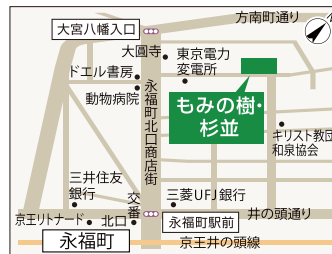
受付時間：午前9時～午後5時



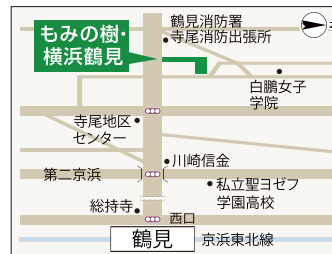
介護付有料老人ホーム
もみの樹・練馬
東京都練馬区平和台2-50-1



介護付有料老人ホーム
もみの樹・杉並
東京都杉並区和泉3-52-8



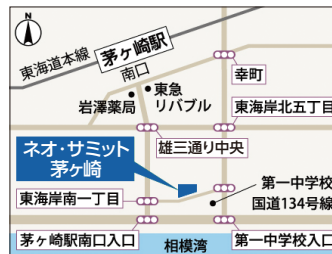
介護付有料老人ホーム
もみの樹・横浜鶴見
神奈川県横浜市鶴見区北寺尾4-3-1



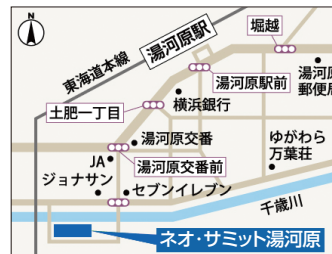
介護付有料老人ホーム
もみの樹・渋谷本町
東京都渋谷区本町5-25-1



介護付有料老人ホーム・住宅型有料老人ホーム
ネオ・サミット茅ヶ崎
神奈川県茅ヶ崎市東海岸南4-3-3



介護付有料老人ホーム
ネオ・サミット湯河原
静岡県熱海市泉17-2



大和ハウスライフサポート株式会社

東京都港区三田3丁目1番7号 三田東宝ビル6階 〒108-0073 Tel 03-3456-4165(代表) Fax 03-3456-4175
当社は大和ハウス工業(株)の100%出資による子会社です。

大和ハウスグループの経営のシンボルである「エンドレスハート」は、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
© Copyright 2025 DAIWA HOUSE INDUSTRY CO.,LTD. All rights reserved.

We Build ECO | 森林育成紙™使用

認知症の方と対話をしよう

その意味と効果とは？

当院の診療スタイルについて

私の診療所は検査機器もなく、血液検査もほとんど行いません。薬の処方がない方も少なくなく、精神療法を目的とした診療所です。そのため、話したい方、話を聞いてほしい方が多く来院されます。

当然、診察室での話は、次の治療のためにカルテに保存しますが、適切な保険診療を行っているか、カルテの監査を受けることはあるものの、医療機関のスタッフ以外が見ることはなく、表に出ることはありません。ゆえに、安心して何でもお話しいただけます。



返ればいいのでは？」「ノートに書きつけてもいいのでは？」と考えたこともありましたが、しかし、患者さん方は「聞く人がいて話すのは特別な意味がある」と言うのです。



その理由について、もう少し具体的に説明します。患者さんの中には、「話しているうちに、自分の置かれた状況がそれほど悪

くなかったことに気付いた」と言う方や、「今まで認知症に関係ないような話までしたことはなかった。話せたことで自分の中に気づいていなかったものがあることを発見できた。この経験をまたしたい」と言う方、「対話によって気持ちが楽になったわけではなく、診療所を後にしたときは、もう来ることはないだろうと思ったが、帰宅したらもう少し話したくなった」と言う方もいました。

また、個々のエピソードを話したことはあったけれど、つながった長い物語を話すことが初めてだった患者さんは、「その



通院間隔は半年や1年に1回から、2週間に1回の方まで様々で、本人の要望をうかがいつつ、治療的な必要性を判断し頻度を決めています。面談の必要性は時間と共に変わり、頻度を一過性に上げることもあれば、症状の落ち着き具合で下げることもあります。通常は事前に予約したうえで受診していただきますが、対話の進み具合や内容によっては帰る際に次回の予約はしてもらわず、本人が必要と感じたタイミングで予約を入れてもらうこともあります。

診察室の中では、もちろん楽しいことや嬉しい話は少ないです。あくまで精神的や心理的な治療の必要性に応じて面談を行なっているのです、本人が話したくないことを話題にすることも多くなります。

私は患者さん方をみていて、「さぞ嫌

意味はまだ分からないけれど、自分が長い人生で本当にたくさんのかたちを経験してきたと改めて感じた」と言いました。

患者さんの話は、極めて微に入り細に入りつたほかの誰とは異なる一人ひとりの物語です。

元来、人間の情緒は咄嗟的で刹那的で、物語としては矛盾に満ちていて、経時的には支離滅裂なものなのです。だからこそ、聞いてくれる人がいれば話を整理して、相手に分かるように話す必要が生まれます。物語として他者に話そうとすると、流れをつけないければならないため、断片的だった出来事についての意味を考えることや、自分の人生を俯瞰する視点も不可欠になります。

その結果、自分のことを物語として他者に話すという行為は、改めて自分を知り、自己肯定感につながるのではないのでしょうか。



繁田 雅弘 医師

栄樹庵診療所院長
東京慈恵会医科大学名誉教授
東京都立大学名誉教授
認知症の啓発を行う
「SHIGETAハウス」
開設者



私は医療の人間ですので、医療者の視点からのご説明になってしまうことをお許しください。

な診察であつたろう。こんな対話は二度としないのではないか」と思うことが少なくないのですが、患者さん方はまた来院されます。なぜだと思われませんか？



他者に話して気づきを得る

対話では、治療者である私はただ聞いて聞くだけに終始することもあります。私自身「治療者の示唆に富んだコメントや本人の気づきがなければ、ただの独り言と同じでは？」「本人が一人で振り

人間が持つ回復力を信じて

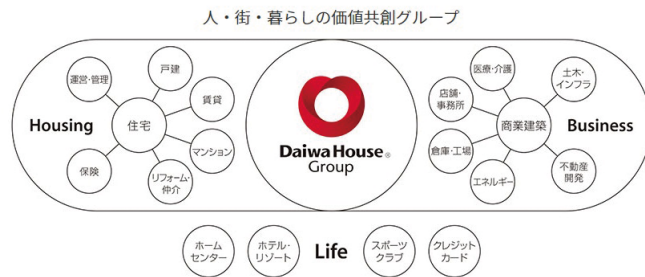
ある時、対話が困難でなかなか言葉が出てこない方が来院されました。聞き手の私も気持ちが擦り切れ、面談後ほどでした。そんな深刻な状態の患者さんでさえ、当然のように次回の予約をし、余裕のある表情で再来院されるのです。

私たちには、どんなに傷つき疲れ果てていたとしても、生きている以上は本人も気付かない自己修復力や回復力があるのではないのでしょうか。

このように、自ら話し、他者に聞いてもらうだけで、気づきを得て気持ちが穏やかになることがあります。皆さんの周りに認知症の方がいたら、物語に耳を傾けてほしいと思います。



大和ハウスグループが描く “将来の夢”



“将来の夢”の象徴文

生きる歓びを、
未来の景色に。

“将来の夢”

生きる歓びを分かち合える世界の実現に向けて、
再生と循環の社会インフラと生活文化を創造する。

ステートメント

私たち大和ハウスグループは創業以来、
「儲かるからではなく、世の中のために立つからやる」
「将来の夢」が人や企業を成長させる」という
創業者の想いと歩んできました。

今、私たちが描く“将来の夢”は、人々の「生きる」が地球と豊かに調和し、
一人ひとりが自分らしく、おたがいが認めあい、
活かしあい、輝きあう世界の実現です。

私たちは、「人・街・暮らしの価値共創グループ」として、
あらゆる人々と心をつなぎ、自然と共生する街づくりと、
幸福で活かしあふれた生き方の創造を通じて、
未来の景色を描いていきます。

のために何をすべきか』をテーマに、社内外約4万人と積極的な対話を重ねました。

そして、1年に及ぶ対話を経て導き出された答えが、大和ハウスグループの“将来の夢”（パーパス※2）です。これは大和ハウスグループが未来に向かっていくための新しい羅針盤であり、創業当時に描いた“夢”を現代に置き換えた私たちの新しい夢です。

夢を掲げただけでは実現できません。大切なことは“生きる歓びを分かち合える世界の実現”に向けて、一人ひとりが仕事の意味・意義を考えるようになれば、それぞれの仕事に対する向き合い方が変わり、それによって個人と組織の両方が成長していくことでしょう。

私たちは、この“将来の夢”（パーパス）をステークホルダーの皆様と共に実現していくことが「愛される大和ハウスグループ」へつながると考えています。

- ※1 VUCA(ブーカ)
VUCAとは「Volatility:変動性」、「Uncertainty:不確実性」、「Complexity:複雑性」、「Ambiguity:曖昧性」の4つの単語の頭文字をとった造語。予測困難で急速に変化する社会やビジネス環境を指します。
- ※2 パーパス(Purpose)
パーパスとは「目的」「目標」「意図」などと訳される英語で、企業の社会的存在意義を指します。『パーパス経営 30年先の視点から現在を捉える』の著者で一橋大学大学院教授・経営学者の名和高司氏は、パーパスを「志」と表現しています。



大和ハウスグループ100周年に向けた
“将来の夢”（パーパス）を受けて
当社ビジョンの策定

2055年に大和ハウスグループが100周年を迎えるにあたり、“将来の夢”（パーパス）「生きる歓びを、未来の景色に。」が策定され、グループ各社でも、これに合わせたビジョンを策定することになりました。

当社では、所属拠点・部署・職種・年代の異なる6名がメンバーに選ばれました。メンバーで何度も対話が続け、当社の事業の根幹であります「施設」「人」を軸に当社らしさを考え、ビジョンを策定しました。

これを2025年度上期全体会議にて大和ハウス工業サステナビリティ統括部・川島氏より“将来の夢”（パーパス）について、プロジェクトを代表して管理部兼事業開発部・只安より当社のビジョンを発表し、

共創する第一歩を飾りました。このビジョンを朝礼や会議など、日々の中で唱和を行い、職員への浸透を図り、30年後にはステークホルダーの皆様とともに最高の物語が創れる会社を目指します。

大和ハウスライフサポート(株) **ビジョン** 「暮らしとともに、ここから始まる物語」
私たちと、高齢者一人ひとりが自分らしい生活を送り、安心と充実を感じられる社会を創造します。地域社会とのつながりを大切にしながら、福祉全体の向上に努め、より良い暮らしを追求します。

ビジョン策定プロジェクトメンバー



もみの樹・杉並 サービス責任者 西嶋 理恵

普段関わることのない、他館の皆さんと意見を交わすことができ、いい刺激になりました。また当社理念を改めて認識したうえで、30年後にはどのような未来になっているか、これまで考えたことのないことを話し合え、有意義な時間となりました。



本社 管理部・事業開発部主任 只安 健二

ビジョン策定プロジェクトを進めるにあたり、グラドルルールを決め、その中でも議論ではなく、対話をするということを1番こだわって進行したことで、当社の「らしさ」を改めて考えることができ、30年間走れる最高のビジョンを策定することができました。



本社 事業開発部主任 佐々木 敦弘

会社のビジョンを考えていく上で、メンバーそれぞれの仕事やライフスタイルに対する価値観を聞くこともできて、とてもいい経験になりました。ビジョンには今後会社が「こうあってほしい」という気持ちがこめられているので、経営者の方々は本気で向き合ってほしいと思います。



ネオ・サミット茅ヶ崎ケアスタッフ 岩瀬 洋子

今回、このプロジェクトに参加し、今まで話したこともないメンバーと未来を語り合うことで、自分の仕事を改めて振り返り、介護職に対する自信と誇りを持つことができました。とても楽しい、有意義な時間でした。



本社 営業推進部 ネオ・サミット湯河原駐在 秋谷 美理

社内外の様々な方と意見を交わしました。こうした対話は、ビジョンを形づくる上で欠かせない要素であると同時に、自分自身大きな学びとなりました。今後はビジョンを身近なものとして感じてもらえるよう、引き続き尽力したいと思います。



もみの樹・杉並 ケアスタッフ 外川 拓実

今の形になるまで、決めることは多かったですが、『議論ではなく、対話をする』というルールのもと、楽しく話を展開することができました。メンバーの皆さんに感謝するとともに、プロジェクトに参加させていただきありがとうございました。

ご入居者の幸せのために、住環境と職場環境を日々改善

今回は事業開発部の皆さんに、日頃の業務内容や意識していることについてうかがいました。



— 皆さんは普段どのようなお仕事をされているのですか？

新倉 事業開発部では、ご入居者に安心して生活していただくための環境整備のほか、デジタル技術を活用し、介護現場における業務の効率化などを推進しています。

大平 過去に資料請求や見学された方にイベント情報のお知らせを送り、ご入居を検討されている方向けに紙媒体やWebサイトで当社施設の魅力や見学会のご案内などを発信しています。



イベント案内チラシ

佐々木 各施設が行うBCP（緊急事態時の被害抑制と事業回復計画）のサポートや、建物設備の改修工事に関する業務、法令上必要な行政対応などを行っています。また、入居相談員が使用する営業管理ソフトのシステム改修・保全・管理により顧客管理のサポートもしています。



BCP(緊急事を想定した計画書)



杉野 部署内の業務の進捗管理やアドバイスのほか、各施設の改修工事を受け持っています。もみの樹・練馬では居室のトイレがカーテンで仕切られているため、自立度が高いご入居検討者から「落ち着かない」などのご意見をいただいていた。そこで自立度が高い方が居住する居室のトイレに扉を付け、洗面を壁で仕切り、床材や壁のクロスも張り替え、ご入居者の満足度向上を図っています。

斉藤 DX推進室では、デジタル機器や介護機器の導入を推進することで、現場スタッフの負担軽減や、ご入居者へのサービス向上を目指しています。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）：デジタル技術でビジネスモデルを変革すること。

只安 具体的には、介護現場では複数の機器を所持しながら介護をする状況が多く、邪魔になるなどの問題があったため、スマートフォンにインカム（ワンタッチで通話できる通信機器）などの機能を集約させ、携帯する機器を減らしました。その結果、現場間でのコミュニケーションが円滑になり業務の効率化につながっています。

■安全性・効率性を高める機器・システム



服薬支援システム

インカム



介護記録システム

全社のDXでは、コミュニケーションツールの導入により、連絡手段の幅が広がり、情報共有の効率化が図れています。

—— 仕事をする上で苦勞していること、配慮していることを教えてください。

大平 情報を受け取る方の立場になって、各施設の魅力を分かりやすく訴求するよう工夫しています。特に読みやすく、見やすい文章やデザインを意識しています。

杉野 各施設のスタッフに負担をかけないよう、自部署でできることは部内で実施しています。また、本社と各施設の意向に差異があれば、事業開発部主導で調整するようにしています。

佐々木 ご入居者の安全に関わる業務も多いため、各施設・各部署の状況や意向を尊重しつつ、法令を遵守するよう、慎重に対応しています。

斉藤 介護現場でのミリ・ムダ・ムラに着目し、課題を改善するための介護機器やシステムの選定に時間をかけています。さらに、現場の管理者やスタッフとコミュニケーションをとり、機器やシステムの定着と正しい運用のサポートも行っています。

只安 選定した機器・システムが当社のネットワークセキュリティに準拠しているか、

導入後もセキュリティ設定が適切にできるものなのか確認し、情報の取り扱いに配慮して進めています。

—— 今後、事業開発部としてやっていこうとしていることを教えてください。

新倉 ご入居者のウェル・ビーイング（身体的・精神的・社会的に満たされた状態）の実現に向けて、安全・安心を最優先に考えています。

施設管理の視点では、自然災害や感染症対策としてのBCP（業務継続計画）のアップデートと、必要備品類の整備や研修・訓練、各種の改修工事（リボン計画）などによる快適な環境作りを進めていきます。

また、介護DXの視点からは、介護テクノロジーを積極的に導入し、ご入居者の安心を確保すると同時に、スタッフが働きやすく、長く勤められる職場環境を整え、生産性の向上を図ります。

そして、ご入居者には、ご自宅にいるような環境と安らぎを継続して提供できるように努めていきます。



新倉 昭人
(事業開発部 部長)



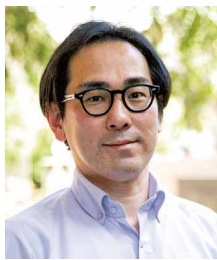
杉野 弘芳
(次長)



佐々木 敦弘
(主任)



大平 誠
(主任)



斉藤 潤
(DX推進室 室長)



只安 健二
(DX推進室 主任)

楽み 多彩なアクティビティ&食事で笑顔いっぱい

楽み 多彩なアクティビティ&食事で笑顔いっぱい

当館にはフルート演奏をはじめ、音楽を嗜むスタッフがあり、プロによるクラシックから演歌まで多彩なミニコンサートを週1回程度開催しています。



外出イベント



6館合同旅行

また、フロアでのアクティビティのほか、書道や手芸、フラワーアレンジメント、園芸など、ご興味あるサークル活動(有料)にもご参加いただけます。そのほかにも1泊2日の6館合同旅行や、ご家族もご参加いただける外出イベントも人気です。



音楽イベント



園芸サークル



書道サークル



フラワーアレンジメント

食事

お食事は通常メニューのほか、ご入居者にご意見を聞いたり、アンケートを行ったりして、ご希望が多かったメニューを積極的に取り入れています。月1回のステーキやお寿司は、目の前で調理し、出来立ての香りが食欲をそそります。



握り寿司実演



寿司

元気 3名体制でリハビリをしっかりサポート

当館には、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)が在籍しています。



トレーニングルーム

3名の機能訓練士がお一人おひとりのお身体の状態に合わせてリハビリプログラムを作成し、身体機能の維持向上をサポートします。個別リハビリ以外にも、ほかのご入居者と一緒に行う集団体操を定期的実施しており、無理なく楽しく体を動かすことが可能です。また、リハビリ機器を設置したトレーニングルームは、機能訓練士が同席であればご自由にお使いいただけます。



理学療法士(PT)



作業療法士(OT)



言語聴覚士(ST)

見学開始!

館長とスタッフのお出迎えにより、館内見学スタート。生活環境やサービスを紹介してもらいます。



ウエルカムボードもお出迎え。可愛いイラストに心が和みます。

新設の「手洗い場」



エントランスに「手洗い場」を新設しました。ご来館の際には、こちらで手洗いをお願いして、感染症対策を徹底しています。

環境

広々とした空間でゆったりと流れる時間

リビングダイニング



陽光降り注ぐ明るいリビングダイニングを各階に設けています。お食事以外、アクティビティやイベントなどでご利用いただいています。

リニューアルした居室



壁紙は心を落ち着かせリラックス効果を期待できる緑色。床やドア、腰壁は、明るい雰囲気の木目調。照明は柔らかな暖色系でくつろぎをもたらします。

中庭



テラスと一体となった中庭では、緑に囲まれた爽やかなひと時をお過ごしいただけます。

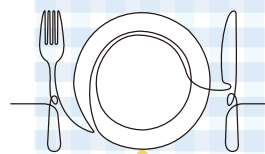
屋上庭園



屋上ガーデンはテニスコート約2面の広さを誇り、日光浴や草花などの植物とのふれあいの場、そしてご入居者が集まる憩いの場となっています。

館見学

環境・アクティビティ・リハビリ 実際の暮らしが分かる「もみの樹・練馬」館内見学
今回は緑地や公園が多い住宅街にある「もみの樹・練馬」をご紹介します。



各館の食事

こだわりのお料理で健康と笑顔をサポート

ネオ・サミット茅ヶ崎

こだわりの美味しいお食事(自立棟)

ご入居者に提供するお食事は、管理栄養士が栄養のバランスを考え、美味しさはもちろん、食材・調理方法・盛り付けなどにもこだわって、館内の厨房で調理師が心を込めて作っています。

食事の際は、好きな席に座っていただくと、フロアスタッフが「適時適温提供」でお席までお料理をお運びします。

朝食は和食か洋食、夕食はメイン料理を魚介系かお肉の2種類からお選びいただけます。昼食は日替わりメニュー(別途アラカルトメニューもあり)をご用意しています。

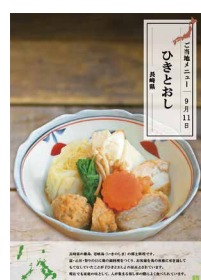


こだわりの献立：ゆず胡椒だれのチキンカツ丼

イベントに合わせた多彩なメニュー

七夕にはそうめん、土用の丑の日には鰻、敬老の日にはお祝い膳など、季節ごとの行事食も豊富です。

さらに、週1回、豊洲直送の旬の魚介類メニューやこだわり献立、月1回「長崎県ひきとおし」などの全国各地のご当地メニューをご用意しています。また、月2回の特別小鉢の日は、夕食時に大海老の天ぷらや牛ヒレカツといった1品を追加(別料金)することができます。



長崎県ひきとおし



6月の特別小鉢



特別な日や「今日はちよつと贅沢に」という日には、和洋選べる特別食をお楽しみいただけます(要予約・2〜6名様・別料金)。
また、館内の植物工場で育てた、採れたての野菜も好評です。

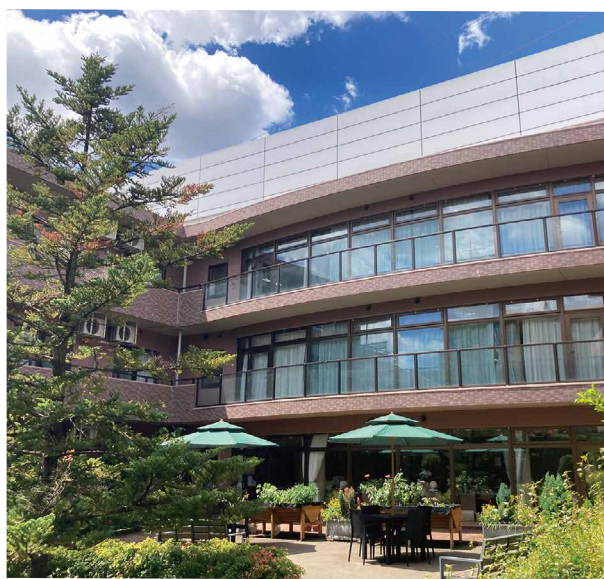


新鮮野菜が採れる植物工場

もみの樹・杉並

季節感あふれる環境で

楽しく元氣な毎日を



暮らしの中に自然がいっぱい

もみの樹・杉並は都心にありながら広々とした中庭を有し、多種類の草木を楽しむことができます。春には梅や桜、夏には紫陽花や新緑、秋には紅葉、冬にはイルミネーションや雪など、ダイニングの窓ガラス越しでも四季の移ろいを感じていただけます。



美しく花開く梅の花



収穫が待ち遠しい園芸療法



春の中庭

ご入居者と一緒に梅や柿の実を採り、梅ジュースや干し柿を作ることもあります。

庭には施設を囲む遊歩道があり、天気の良い日にはご家族とのんびりお散歩をしたり、スタッフと日光浴をしたり、思い思いにお過ごしいただけます。何気ない散歩でも、ADL(日常生活動作)の維持向上につながり、生き甲斐にもなります。



夏の中庭

また、車いすの方に気軽に風や太陽の光を感じ、気分転換していただけるよう、2階にはガーデンテラスを設けています。



ダイニングからの景色



花々に囲まれたガーデンテラス



「茶話会」の銘菓

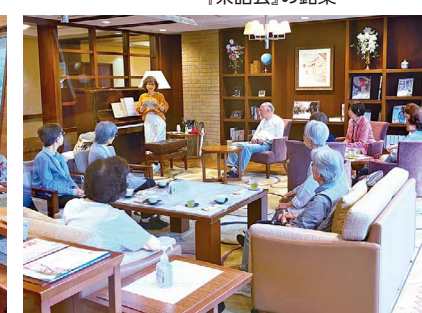
ほかに、毎月銘菓や季節の甘味を味わう『茶話会』や、ご入居者のご要望を取り入れた地域の名店でのランチ会『美食会』など、美味しいものを召し上がっていただく企画も行っています。

なお、介護が必要な方のためのケアレジデンスでも、朝食と昼食は自立棟と同じメニュー(夕食はメイン料理1種類、月に数回のセレクトメニュー)をご提供しています。

ネオ・サミット茅ヶ崎では、これからも食事を通して、ご入居者の健康と笑顔をサポートする取り組みを続けていきます。



外出して人気のお店の味を楽しむ「美食会」



楽しい歓談とともに甘味を味わう「茶話会」



初夏のお茶会

季節の草花に囲まれた中庭は、お散歩やお茶会、ご入居者同士の交流の場としても活躍しています。

移動スーパー&パン屋も大人気

お買い物は、近隣の商店街をご利用いただけますが、定期的に来館する移動販売車もご入居者に人気です。

毎週水曜日には移動スーパーが玄関前に停まり、流れてくる音楽を合図にご入居者が集まってきます。皆様「これが美味しかったわよ」と勧め合いながら、お菓子や果物、ふりかけなどの商品でカゴの中をいっぱいにされています。



賑わいを見せる移動スーパー

毎週金曜日に来るパン屋さんは、定番商品に加え季節の品もあり種類が豊富で、パン好きなど入居者は毎週お買い物を楽しまれています。



もみの樹・横浜鶴見

心と体が元気になる楽しいイベント満載

オプショナルツアー開催

◆東京都心で絶景ランチと水族館観光

コロナ禍は中止していた日帰りオプショナルツアーを今年の6月に再開しました。

まずは『品川プリンスホテル』38階のレストラン『味街道五十三次』にて、美しい景色を眺めつつ、2種類から選べる和食ランチをご堪能いただきました。その際偶然にもドクターイエロー（新幹線の点検車両）を見ることができ、ご入居者は歓声をあげられていました。

食後は『アクアパーク品川』で、愛らしいペンギンやイルカのダイナミックなショーをご覧いただきました。巨大な海中トンネルでは、頭上を泳ぐサメやエイの姿に圧倒される場面



幻想的な海中トンネル



『アクアパーク品川』で記念撮影

もあり、童心にかえり非日常を味わう一日となりました。

「また行きたい」との声も多く、今後の企画への期待を感じています。

癒しと笑顔あふれる美容のひとつき

◆プロの卵による美容レクリエーション

もみの樹・横浜鶴見では、介護美容研究所の学生による心と体を癒す美容レクリエーションを定期的に実施しています。毎回『メイク・スキンケア』『ネイルケア』『ハンド＆フットトリートメント』などのテーマを設け、プロを目指す学生たちが丁寧に対応してくれています。



心地よいハンドトリートメント



笑顔で学生さん交流中

施術後は表情が和らぎ笑顔が増えるご入居者も多く、「気持ちよかった」「久しぶりにお化粧して嬉しい」というお声が寄せられています。美容ケアには喜びや自信

をもたらす要素もあるため、これからも心に元気が灯るレクリエーションとして続けていきます。

可愛い訪問者たち

◆アニマルセラピーで笑顔あふれるひととき

動物介在活動ボランティア『てくてくるみ』の皆様によるアニマルセラピーも当館では恒例となっています。

可愛らしい犬たちの仕草に自然と笑みがこぼれ、触れ合ったり、話しかけたりすることで、心が癒され、会話も弾みます。

動物とのふれ

あいはリラックス効果だけでなく、ご入居者の活力を高め、感情の安定にもつながるといわれており、今後も続けていきたい大切な活動のひとつです。



大人気の「アニマルセラピー」



犬と積極的に触れ合うご入居者



ネオ・サミット湯河原

笑顔＆元気になれる、素敵な体験盛りだくさん

青空の下でパークゴルフ

抜けるような青空の下、湯河原町総合運動公園内の小高い丘にあるパークゴルフ場でパークゴルフを行いました。ご入居者やスタッフの「ナイスショット」の声が響き、笑顔あふれる時間となりました。

こちらの公園には、テニスコートや体育館もあり、相模湾や真鶴半島、大島などを望めるロケーションも魅力です。ご入居者にも人気で、週に一度ご利用いただいています。



『笑いヨガ』で楽しく元気に

『笑いの体操』と深呼吸と手拍子を組み合わせて、たくさん笑うアクティビティ『笑いヨガ』を定期開催しています。笑うこと

は、楽しい気持ちで満たされるだけでなく、新鮮な空気を取り入れられ、リフレッシュやストレス解消、免疫力の向上にもつながります。



アートと美食の『初夏のバス旅行』

初夏のバス旅行で、完全予約制の『江之浦測候所』を訪れました。『江之浦測候所』は現代美術作家の杉本博司を中心に、小田原文化財団が小田原の江之浦に作った施設です。皆様、落ち着いた雰囲気の中、アートや壮大な自然を満喫されていました。



昼食で立ち寄った国の登録有形文化財『清閑亭』は、明治39年（1906年）頃に造営された数寄屋風書院造りの建物で、政治家・黒田長成侯爵の旧別邸です。厳選された旬の食材で小田原の地域性を表現した美食をご堪能いただきました。



久しぶりの外食で気分転換

ご入居後に介護が必要となり、ケア棟に移られた後、食欲の低下が見られたご入居者がいらしたので、個別ケアとして外食にお連れしました。



昔住まわれていた熱海市内にあるお知り合いのお店でランチをお楽しみいただきました。ご満足いただけたようで「また行きたい」と笑顔でおっしゃっていました。

感動プロジェクト

オンリーワン

K様(70代後半) 要介護5 もみの樹・渋谷本町

ご家族の願いを受け止め 懐かしき海・材木座海岸へ



【取り組み実施の背景】

入退院を繰り返し募った郷愁

ご入居当初のK様は要介護4でしたが、歩行や食事の経口摂取はできていました。しかし昨年6月に肺炎のため入院し、胃瘻を造設されて、もみの樹・渋谷本町に戻られました。以来、日常生活はリクライニング車椅子を使用し全介助、食事は3食経管栄養となりました。

この3か月後も体調を崩し入院されてしまい、退院時にK様のご家族が「鎌倉の海を見に行きたいね」と涙ながらにおっしゃいました。鎌倉の材木座海岸は、K様が生まれ育った場所であり、ご家族にとっても思い出の地だったのです。しかしK様の体調が安定せず、取り組み実施まで時間を要してしまいました。

【普段の様子】

できる訓練をしつかりと

日中、K様は傾眠傾向が強いため、レクリエーションは体調が良く、覚醒されている際に時々参加される程度でした。一方、個別機能訓練は週2回行い、関節可動域を広げるストレッチや座位・立位の訓練、言語聴覚士による嚥下訓練も行うことで、身体機能の維持に努めてきました。



居室でのリハビリの様子

【当日までの準備】

安全な外出に向けて準備

当日の立ち寄り先候補の『材木座海岸』『鶴岡八幡宮』『逗子マリーナ』の下調べや、道中の路面状況、周辺環境を確認し、安全にご案内できるよう準備を進めました。

実施予定日の天気予報は大雨でしたが、ご家族の希望もあり、体調やスケジュールを考慮し、雨でも楽しめるプランに切り替え、予定通り実施することとなりました。



昔なじみの鶴岡八幡宮も訪問

【当日の様子】

ご家族揃って思い出巡り

当日はK様のご夫人とともに館を出発しました。朝から激しい雨が降り続き、横浜ベイブリッジを通過する頃には、周囲の景色がまったく見えないほどの土砂降りでしたが、材木座に近づくとつれて雨は弱まり、皆の願いが届いたのか、到着する頃にはすっかり止んでいました。



スタッフが寄り添い出発



海を背にご家族で記念撮影



スタッフとも笑顔で撮影

真を撮ることができました。ご家族4人が揃う久しぶりの時間を大変喜ばれていました。

その後、ご生家の跡地に向かい、生まれ育った懐かしい景色を眺め、穏やかに過ごされました。午後は事故による渋滞に遭遇し、やむなく『江の島水族館』に行く予定を変更し、K様縁(ゆかり)の鎌倉・鶴岡八幡宮近くで休憩をとりました。散策はできませんでしたが、K様は車内から街並みを眺め、昔を思い出されているようでした。

帰りは車窓から広がる雨上がりの横浜の街並みと海の景色を楽しみながら無事帰館しました。



雨上がりの横浜を眺めて帰館

【取り組みを終えて】

ご家族もスタッフも大満足の一日に

今回の外出は看護スタッフ、介護スタッフ、ドライバーの3名体制で、K様の体調

感動プロジェクト 「オンリーワン」とは

ご入居者が人生でやり残したことや、諦めてしまっていることを実現できるようお手伝いさせていただき、その人らしさを取り戻す機会をご提供しています。

日々の生活の中で目標に向けて励む充実感や、夢を実現した達成感を味わっていただけるプロジェクトです。

スタッフボイス



もみの樹・渋谷本町
ケアスタッフ
紺野 つくし

ご入居者の強い想いを胸に、思い出の地であり、生まれ育った鎌倉へご案内しました。過去に意識消失があったため臥床時間が多かったのですが、外出を目標に少しずつ離床時間を増やし準備を重ねました。ご家族としっかり連携を取り、当日はお兄様との再会も叶いました。これからもご入居者一人ひとりの願いを全力で受け止め、実現していきます。

これを最優先に、安心・安全に留意し慎重に対応しました。ご家族の笑顔もたくさん見られ、「本当に来られてよかった」とのお言葉もいただけ、スタッフにとっても嬉しい一日となりました。

これからもご入居者の「叶えたい気持ち」に寄り添い、一つひとつの願いをカタチにできるようスタッフ一同、精一杯努めてまいります。